

国際日系対話に際しての穂坂政務官のビデオ・メッセージ

ブエノス・ディアス（「おはようございます」の意）。皆様、おはようございます。日本国外務大臣政務官の穂坂泰と申します。この度は、第3回となる国際日系対話の開催にお祝い申し上げます。ペルー日系人協会がこのような素晴らしいイニシアティブをとられ、米州の日系社会同士、及び日本との絆を強化する機会となっていることに、日本政府を代表して心から敬意を表します。

本年は、日本人のペルー移住125周年にあたります。このように米州における日系社会は100年以上の歴史を有しています。その間、多くの困難を乗り越え、勤勉、正直、そして誠実を旨として、様々な分野で御活躍されてきた日本人、日系人の皆様の生きる姿勢、歩みは、今日、^{こんにち}各国からの日本及び日本人に対する尊敬と信頼、友情の礎となっています。

私自身も、政務官として外交の最前線に立ち、常日頃から世界各国から来訪されるたくさんの要人をお迎えしていますが、首脳レベルを含む政府関係者からも、それぞれの国の発展に寄与されてきた日系人の皆様に対する敬意を伺っております。我々日本に暮らす日本人も皆様の御活躍を大変誇りに思っております。また、本年1月には、初めて中南米の地に降り立ち、ホンジュラス及びグアテマラを訪問し、日本と中南米の絆の強さを改めて実感したところです。

外務省は、日系社会とのパートナーシップを更に強化するため、2023年1月に中南米日系社会連携推進室を設置しました。具体的な取組として、日系人のネットワーク連携の強化のための支援や、日本への招へい事業等を行っています。このような取組を通じて、若い世代の方々も含む、各国の日系社会との連携を推進して参りたいと考えています。

本日は、この国際会議を通じて、国境を越えて日系人の皆様の友好と連帯が一層深まり、また、日本と日系人の皆様との絆がさらに強化されることを期待いたします。

最後になりましたが、今回の会議を共催されたペルー日系人協会及び、各地の日系人協会の益々の発展と参加者の皆様の御健勝を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。ムーチャス・グラシアス（「ありがとう」の意）

（了）